

平成 28 年 11 月 9 日

一連の台風被害による日高線（鷓川・様似間）の復旧費について（概要）

◎復旧費は、当初の 38 億円から +48 億円の 86 億円に増加すると試算しております。

※一連の台風災害による被災箇所における調査がすべて完了していませんが、現時点で確認された状況から、増加する復旧費を試算しております。

◎復旧費とは別に、海岸侵食対策として、離岸堤の整備が必要と考えます。

※JR北海道単独では、抜本的な海岸保全に係る費用を負担することは、極めて困難であります。

◎これとは別に、第 5 回協議会でお示した、今後概ね 10 年間に於いて、安全を確保し、当面の運転を実現するための、最小限の防災対策及び土木構造物の老朽対策費 53 億円が必要です。

1. これまでの前提となっている復旧費

項目	金額
①厚賀・大狩部間 防災対策費（最小限）	30 億円
②厚賀・大狩部間 平成 27 年 9 月被災箇所復旧費	2 億円
③豊郷・清島間 平成 27 年 9 月被災箇所復旧費	6 億円
計	38 億円

2. 一連の台風被害による復旧費の増加

項目	金額
① 台風 7, 9, 11 号による被災箇所復旧費	2 億円
② 台風 10 号による被災箇所復旧費	17 億円
③ 厚賀・大狩部間 防災対策の強化 （護岸改築、斜面吹付砕工）	29 億円
計	48 億円

注）一連の台風による護岸壁倒壊箇所等の復旧費は、これまでの復旧費を試算した時に使用した施工単価を準用し、護岸壁、路盤等の復旧（新設）、および消波ブロックの設置について試算したものです。